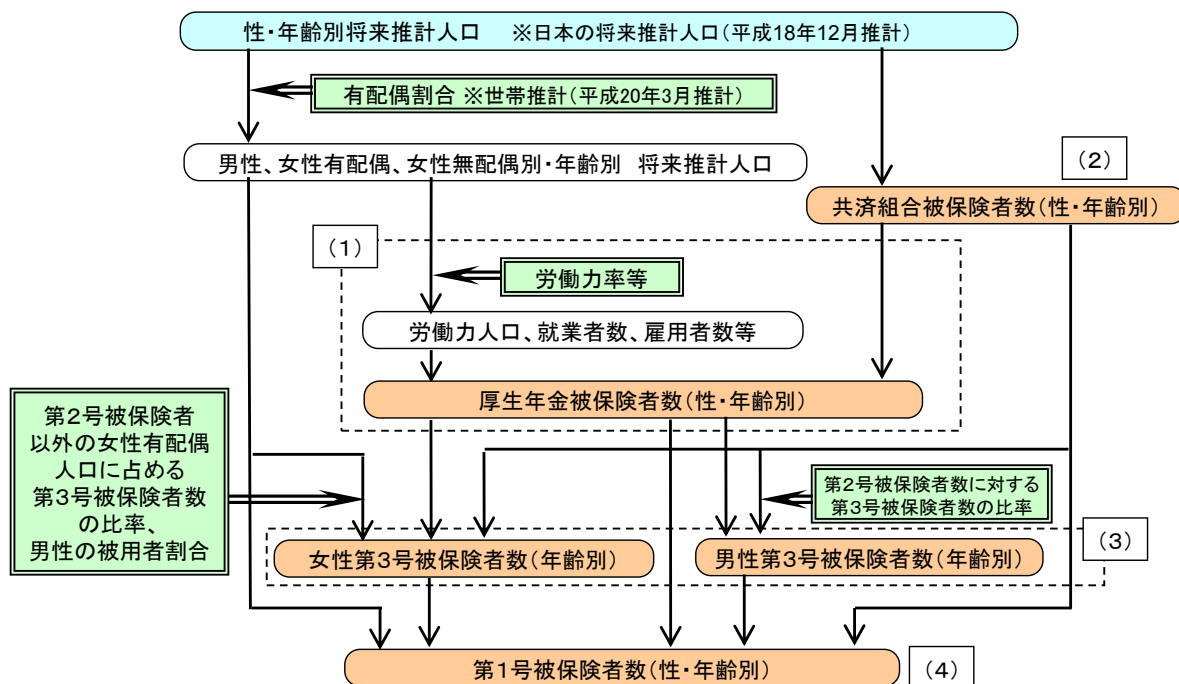


3. 被保険者数の将来推計の方法

被保険者数の将来推計の手順について示したものが、第3-6-12図である。以下では、この流れに沿って具体的な手法を解説する。

第3-6-12図 被保険者数の将来推計の方法



(1) 厚生年金被保険者数の推計

今回の財政検証における長期の経済前提を設定する際には、短時間雇用者が増加していく見通しとなっていること等を踏まえた労働投入量の将来推計が用いられているが、将来の厚生年金被保険者数の推計にあたっては、これと整合的になるような推計方法を採用することとした。

具体的には、第3-6-13図に示す手順で推計を行っている。このうち、将来推計人口からフルタイム雇用者数（週所定労働時間 35 時間以上）及び短時間雇用者数（週所定労働時間 35 時間未満）を算出するまでの手順は、長期の経済前提の設定に用いた労働投入量を推計する手順と同一であり、第3章第4節で詳述している。

さらに、フルタイム雇用者、短時間雇用者それぞれについて、雇用者に占める厚生年金被保険者の割合（以下、厚生年金被保険者割合という）を設定して乗じることにより将来の厚生年金被保険者数を推計している。